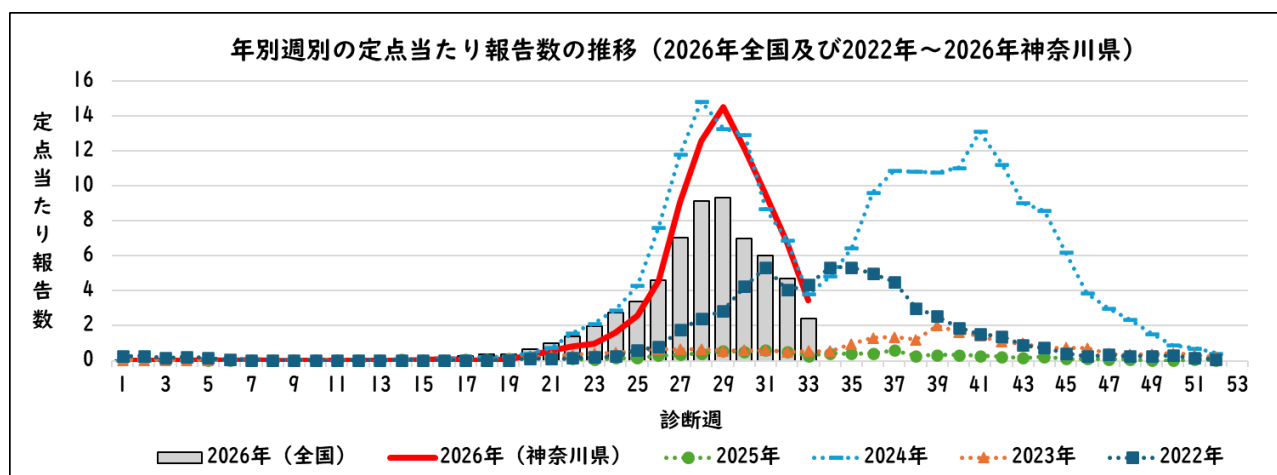


神奈川県 手足口病情報（8）33 週

警報を発令中です！

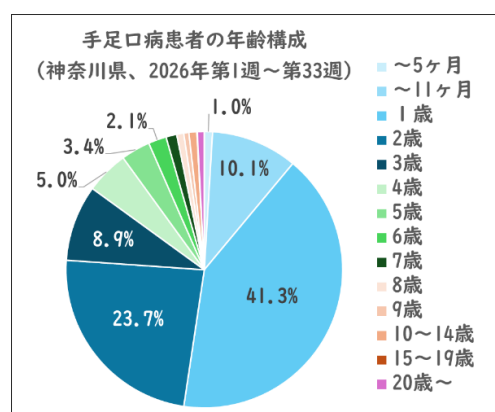
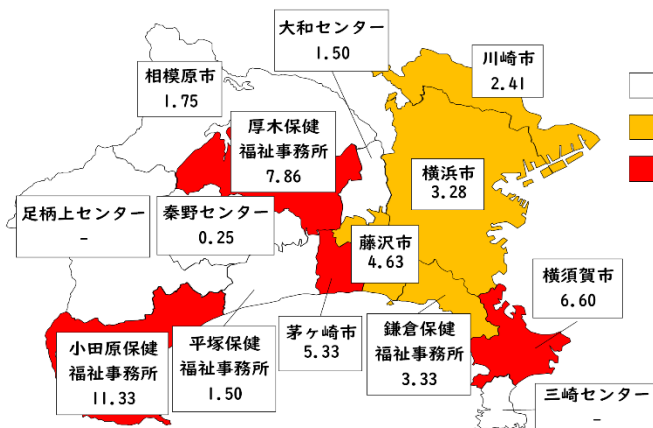
神奈川県では、第 27 週（2026 年 6 月 29 日～7 月 5 日）の手足口病の定点当たり報告数が 9.09 となり、警報レベル（定点当たり報告数 5.00）を超えました。第 33 週（2026 年 8 月 10 日～8 月 16 日）の定点当たり報告数は 3.44 で、第 29 週以降、減少傾向が続いています。ここでは、県内の流行状況などについてご紹介します。



（Ⅰ）県内の流行状況について（第 33 週（2026 年 8 月 10 日～8 月 16 日）時点）

地域別に見ると、神奈川県では、4 か所の保健所管轄地域で定点当たり報告数 5.00 を超えています。

年齢別に見ると、神奈川県では、1 歳が 41.3% と最も多く、特に 0 歳～1 歳までで全体の 52.4% を占めています。大人でも感染することがあるため、注意が必要です。



(2) 病原体サーベイランスについて

神奈川県衛生研究所では、医療機関の皆様に採取していただいた検体について病原体検査を実施し、現在流行している病原体の検出状況や特徴を監視（サーベイランス）しています。

	検体採取月		総数
	6月	7月	
検体数	7	16	23
コクサッキーウイルスA6型	7	1	8
陰性	0	0	0
検査中	0	15	15

2026年8月6日現在までに、当所に搬入された手足口病患者の検体は23検体で、その検査結果は表のとおりです。

コクサッキーウイルスA6型による手足口病の場合、水疱が大きくて出現範囲も広く、水痘（みずぼうそう）と見間違えられることがあります。また、治った後に爪がはがれることがあります（爪甲脱落症）。

*数値は速報値のため、今後変更する可能性があります。

手足口病について

手足口病とは、コクサッキーウイルスA群やエンテロウイルス71型と呼ばれるウイルスが主な原因となる感染症のことです。手、足、口の中にできる水疱性の発疹が主な症状となります。

主な感染経路は、水疱の内容物や唾液、よだれに含まれるウイルスが手やおもちゃなどを介して口や目などの粘膜から入って感染します（接触感染）。また、便と一緒に排出されたウイルスが口に入ることで感染します（糞口感染）。口腔内のウイルスが飛沫感染することもあります。

この感染症には予防接種や有効な治療法が無く、症状を和らげる対症療法のみとなります。消毒用アルコールは効きにくいので、予防には石鹸による手洗いが有効です。また、治った後もしばらく便中にウイルスが排出されるため、排便後やおむつ交換後は手洗いをしっかりと行いましょう。タオルの共用を避けることも大切です。以下に参考リンクをご紹介します（2026年8月21日アクセス）。

- ・ [国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト「手足口病」](#)
- ・ [厚生労働省「手足口病」](#)
- ・ [厚生労働省リーフレット「手足口病」](#)